

メチシリン感受性黄色ブドウ球菌における Inoculum effect の探索研究

1. 研究の対象

2021年1月1日～2023年12月31日の間に当院で血液培養検査を行われ、メチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）が検出された方が対象となります。

2. 研究の期間

承認後～2025年12月31日

3. 研究目的および意義

メチシリン感受性黄色ブドウ球菌（MSSA）による感染症においては、抗菌薬セファゾリン（CEZ）が第一選択薬として使用されています。一方、MSSAの菌量が多い場合にCEZの有効性が下がる現象として Inoculum effect が知られています。このため本研究では、血液培養から検出されたMSSAについて、Inoculum effectの有無と陽性率、ならびにその関連遺伝子を調査することを目的としています。

4. 研究の方法

主研究施設である岡山大学にMSSAの菌株を送付し、解析します。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

血液培養から検出されたMSSAの菌株を使用します。この研究では個人を特定できるような情報は一切登録されません。この研究に関わって取得される試料・情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

6. 研究組織

- 研究代表機関 岡山大学
- 研究代表者 萩谷 英大准教授

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すで

に研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合があります
すことをご了承ください。

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号 (代表) 03-3964-1141

東京都健康長寿医療センター 感染症内科 小金丸 博